

コロナ後の活力ある未来に向けて



渋川市長
高木 勉

明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年も、新型コロナウイルスの災禍に見舞われた年でありました。1年の延期を経て開催された東京2020オリンピック・パラリンピック大会は、無観客となりましたが、本市出身のパラスリット唐沢剣也選手が男子陸上5000m(視覚障害T11)で見事銀メダルを獲得いたしました。さまざまな制約の中にあっても全力を尽くす姿や、国を超えて健闘をたたえ合う姿を通じ、世界に大きな感動を残した大会となりました。

市は、この大会のレガシー(次世代へ残すべき遺産)を受け継ぎ、性別・年齢・国籍・障害の有無にかかわらず、誰もが自分らしく、い

きいきと輝くことのできる「共生社会実現のまち」を目指しています。今年も、この理念を市民の皆さまと共有し、互いを尊重し、助け合う「誰一人取り残さない社会」を築いてまいります。

また、昨今は、気候変動の影響による災害が頻発しています。市においても食品ロスの削減などに取り組んでおりますが、将来世代のためにも、私たち一人一人が意識や行動を見直し、環境問題にしっかりと取り組んでまいります。

長引くコロナ禍の中、経済的、社会的に厳しい状況が続いています。今こそ皆で心を寄せ合ってこの困難を乗り越え、全ての人が安心して暮らせる一年となりますようご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

市政のチエツクに務めます



渋川市議会議長
望月 昭治

明けましておめでとうございます。年頭に当たり、市民の皆さまに謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

皆さまには、日ごろから市議会に対する温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

長引くコロナ禍により、日本経済も低迷が続く、緊急事態宣言により日常生活においても閉塞感がございましたが、新型コロナウイルスワクチンの接種率向上とともに、国内での感染者数も大幅に減少いたしました。

世界的には、新種の新型コロナウイルスによる感染流行の兆しなども見られますので、終息するまでの間は、ウィズコロナの継続した取り組みが必要と思っております。

本市においては、新型コロナウイルス感染症・生活経済安定対策として、中小事業者支援など多くの施策や事業を推進し、人口減少対策など喫緊の課題に取り組んでおります。

このような中、市議会といたしましても、市政のチエツク機関として、議会が果たす役割と責任を自覚し、市の将来像である「やすらぎとふれあいに満ちた、ほっと“なまち”の実現を目指し、市民の皆さまの生活を守るため、全力で取り組む所存であります。

本年も市議会に対しまして、相変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、この一年が皆さまにとつて輝かしい年となりますようご祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。



今年の十二支は「寅」

今年の干支は「寅」で、動物に当てはめると「虎」になります。

日本にトラは生息していませんが、アジア大陸のトラの存在は古くから知られており、力や威厳の象徴として、さまざまな形で親しまれてきました。

トラの特徴である美しいしま模様は、生息地では体の輪郭をぼやかす効果があるといわれています。生態は今も謎に包まれていて、現在、野生の生息数は約4000頭ほどに減少していると推定されています。

「寅」の字は、家の中で矢を両手でまっすぐに伸ばす様子を表しています。矢が放たれる準備段階を示していることから、「動き始め、胎動」といった意味が生まれました。「漢書」では、「寅」は草木が伸び始める状態を表すと解釈されています。子年にまいた種の芽が、丑年に種の中で育ちます。寅年は、春が来て芽吹きを迎えた、成長の年です。新しい年が、トラのように大きく力強く成長する一年になることを願います。

